

生活支援体制整備事業
実施状況等ヒアリング調査票(平成30年9月1日現在)

●市町村名	〇〇〇市	●担当課	高齢者福祉課 高齢者支援班
●担当者名	〇〇 〇〇	●連絡先	TEL: 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇
			E-mail: 〇〇〇@〇〇〇〇〇

1 生活支援コーディネーターや協議体を考えるとりくみ

「目指す地域」についての住民との協議・ワークショップやフォーラムの開催	
■実施した	→ 具体的に(1度、地域づくりフォーラムを開催。参加者からも2層協議体メンバーを選出。)
□今後実施する予定	→ 具体的に(
□実施する予定はない	

2 生活支援コーディネーター(SC)について

	第1層	第2層
配置	■決まっている □決まっていない	■決まっている □決まっていない
人数	(1)人	1ヶ所あたり(1)人 合計(5)人
所属	■行政 □社協 □包括 □その他 →具体的に()	□行政 ■社協 □包括 □その他 →具体的に()
選考方法	市の直営	第2層参加者の互選で決めようとしたが、地域福祉やネットワークづくりの実績のある社協へ委託した。
具体的な活動	第1層協議体の運営。第2層SCの定例会議開催。生活支援サービス担い手講座の開催。市域のサービス開発。	第2層協議体の運営。SC定例会議への参加。生活支援サービス担い手の人材発掘。2層圏域のサービス開発。
任期	(1)年	(1)年
予算	■あり →具体的に(6,000千円) □なし	■あり →具体的に(5ヶ所=10,000千円) □なし
市民への周知	■あり →具体的に(広報誌、ホームページ) □なし	■あり →具体的に(回覧板、区長会説明等) □なし
その他		

3 協議体について

	第1層	第2層
設置	■決まっている □決まっていない	■決まっている →(中学校区)圏域 (5)ヶ所 □決まっていない
構成メンバー(団体)	行政、市社協、地域包括、民生児童委員、ボランティア連絡協議会、自治会連合会、公民館、NPO、シニアクラブ、青年会議所、社会福祉法人、第2層協議体の各代表	自治会、地区社協、地域包括、ケアマネ、民生児童委員、公民館、NPO、ボランティア、福祉サービス事業所、スーパー
事務局	■行政 □社協 □包括 □その他 →具体的に()	□行政 ■社協 □包括 □その他 →具体的に()
協議体の目的・役割の協議	第2層協議体の有効な取り組みを市域へ広げる。第2層協議体の課題を協議し助言していく。	住民課題の整理。生活支援サービスの開発。第1層への提言。
具体的な活動	年(4)回開催 場所(市役所会議室) 市域のサービス開発、人材育成を検討中。	年(12)回開催 場所(社協事務所や公民館) サロンの新規開催に向けて検討中。
その他		

4 社会資源の調査について

※調査先、調査方法、調査した結果や活用について御記入ください

行政で把握している保健・医療・福祉関係の機関・団体のリストアップ。市民活動支援部署からNPO情報、社協からボランティアグループの情報を得た。自治会連合会から自治会が行っている助け合い活動について情報を得た。社会福祉法人から公益的な取り組みの情報を得た。調査結果は各協議体へ報告し、地域がおかれている現状について共通認識を図った。

5 生活支援サービスのニーズ調査について

※調査先、調査方法、調査した結果や活用について御記入ください

行政資料から小地域毎の高齢化率等、行政統計の分析。専門職や当事者団体へのヒアリング。住民向けアンケート調査・住民へのヒアリングの実施。民生児童委員等の協力を得て個別訪問の実施。住民座談会の開催を行った。調査結果をもとに地域の生活支援ニーズを整理し、各協議体でサービスの立ち上げや、サービスの担い手の発掘・育成等について協議を行った。

6 サービスの立ち上げについて

協議体によるサービスの立ち上げ

- | | | | | | | |
|---|---|--|--|--|--|---|
| ☒ 立ち上げた | → | ☒ 買物支援 | ☐ 移動支援 | ☒ 居場所づくり | ☐ 家事援助 |) |
| | | ☐ その他 →具体的に(| | | | |
| ☐ 今後立ち上げる予定 | → | ☐ 買物支援 | ☒ 移動支援 | ☐ 居場所づくり | ☒ 家事援助 |) |
| | | ☐ その他 →具体的に(| | | | |
| ☐ 協議できていない | | | | | | |
| ☐ 協議体を通さずにサービスを立ち上げた | → | 具体的に(| | | |) |

7 生活支援サービスの担い手の発掘・養成について

協議体構成メンバーが所属する団体や市民から生活支援サービスの担い手の希望者を募り、担い手養成講座を実施した。講座では助け合いによる地域づくりの基本的な考え方や実際の既存の生活支援サービスの活動内容、留意点等を学び、市に登録してもらった。今後協議体で家事援助サービスの立ち上げが協議された際は、その担い手として活動をお願いする予定。

8 管内の社会福祉法人・施設との連携・ネットワーク化の状況

市民向けアンケートの結果、買い物支援の要望が多く挙げられたが、協議体にデイサービスを実施している高齢者施設をお呼びして相談した結果、利用者の朝の迎えが終わった後は車が空くとのことで、その時間帯は高齢者向け買い物支援バスを走らせてもらえることになった。

9 難航していること、課題など

協議体で生活支援サービスの立ち上げが必要になっても、実際に担い手となる団体の立ち上げ方や運営のノウハウがない為、どこに相談したら良いのかわからない。また、いろいろなサービスの立ち上げを市に要求されても、実施場所や財源の確保が難しいと感じている。